

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	スターキッズ大鳥居		
○保護者評価実施期間	2026年1月29日		～ 2026年2月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	2026年1月29日		～ 2026年2月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童の興味、関心を活かした療育プログラムの実施	活動内容の中に一定の目的を持ちつつ、児童が飽きることのないようにプログラムを工夫しています。季節感に合わせた制作や、調理活動などを取り入れ、行事についても実施し、楽しんで通所できる環境づくりに努めています。また児童のその時・その場での興味関心<学校で縄を使っているから縄跳びをしたい><最近ドッチボールをやっている>などの声を拾い上げていきながらプログラムを<跳躍・投げる・集団でのボール回し>など細かく設定していくことで、通常の内容に変化を加えながら療育プログラムの構成をしています。	実施する療育について事前に話し合うことで、補助が必要な児童や注意をすべき点に共通認識を持つとともに、意見交換について、日頃より実施していきます。このような取り組みを行なっていくことで職員の専門性や支援の手法などの向上をしていくとともに、療育の質をより高めていきます。
2	保護者との情報共有と連携	利用時の来所の際には学校やご家庭での状況を聞き取り、療育後に引き渡しの際には、その日のできごとや児童の様子をフィードバックしています。さらに、必要に応じて保護者との面談を実施し、保護者の悩みごとを丁寧に聞き取ることで、よりよい支援につなげる取り組みを行なっています。	保護者の方からお話をうかがうとともに、内容や様子に応じて家族支援に関する面談を提案します。保護者の方に対しても支援が行える体制を整えてまいります。全保護者に対して面談実施の機会があることを周知していくことで、悩みごとや相談などを気兼ねなく行えるようにしていきます。
3	グループ教室との連携	児童発達支援に通所し、その後グループの放課後等デイサービスを利用される方が多く成長過程を継続的に把握しながら支援を行うことが可能です。また合同での活動機会を設けるなど、児童同士の交流を図っています。グループ教室との合同イベントを実施することで、さまざまな年代の児童や保護者との交流の場についても提供をしています。	季節を問わず異年齢、普段と違う児童との交流の機会を設けていけるように場面を設定していきます。また、児童同士で交流を深められるよう、運動、共同工作、近隣イベントなどにも取り組んでいきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	非常災害時等の対応に関する保護者への周知	非常災害のための訓練等の実施は行なっていますが、保護者への周知などが足りていないため、教室として実際にどのようなことを行なっているのか伝えられていない部分があります。どのような取り組みをしているのかを周知する機会が不足していると考えております。	日頃から安全に関する計画の見直しや、定期的な訓練等を実施していることを契約時、利用時に適宜伝えていきます。また、避難訓練や災害時対策における対策実施の様子については写真とともにSNSや連絡機能を活用し、定期的にお知らせしていきます。
2	保護者同士の交流の場	全体での行事などのイベントはありますが、ペアレントトレーニングや保護者会など、身近な保護者同士の集団の場を開くことができていないため今後の課題と考えております。	保護者が療育の見学や参加を行えるイベントなど、多くの保護者が子どもの状況や情報の共有をできる機会を設けていけるようにしていきます。また、今年度は実施できていない保護者会の開催やペアレントトレーニングの機会を設けることで、保護者同士での交流機会を検討していきます。

3	関係機関、学校等との連携	<p>学校公開等の見学機会にうかがうこともありますが、内容についてを関係機関などと共有する機会が少なく思います。相談支援事業所や他事業所の様子をヒアリングするなど、併用先や関係機関との連携をより深めていくことが必要と考えております。</p>	<p>学校行事や学校公開等に参加をし、日頃の様子や支援内容について担任や保護者、他事業所などと情報共有を行うことで、関係各所との連携をより一層深めていきます。継続的に取り組みを行なっていくことで、家庭、学校、事業所内での切れ目ない支援へとつなげてまいります。</p>
---	--------------	--	---